

彩の国みどりの基金を活用した事業予算案

1 森林の保全・活用 (基金活用額 766 百万円)

(主な事業)

- ・水源地域の森づくり事業 【農林部】 (358 百万円)
水源地域の森林を針広混交林や広葉樹の森に再生
- ・県民参加による里山・平地林再生事業 【農林部】 (261 百万円)
ササ刈り等の実施による里山・平地林の再生
- ・森林のウェルカムストリート整備事業 【農林部】 (117 百万円)
「彩の国ふれあいの森」などの歩道や休憩ポイント等の整備

2 身近な緑の保全・創出・活用 (基金活用額 708 百万円)

(主な事業)

- ・グリーン庁舎化推進事業費 【総務部】 (73 百万円)
県本庁舎の壁面緑化、車庫上分館跡地の芝生化
- ・ふるさと自然再生事業費 【環境部】 (2 百万円)
平地林の保全活動を行う団体への支援、自然再生協議会の運営支援
- ・まちのエコ・オアシス保全推進事業費 【環境部】 (128 百万円)
都市周辺の多様な生物が暮らす水辺空間や平地林等の公有地化
- ・一人一本植樹運動推進事業費 【環境部】 (52 百万円)
県民・行政・企業・ボランティア団体等が一体となり植樹運動を展開
- ・みどりの園庭・校庭促進事業費 【環境部】 (155 百万円)
幼稚園・保育所の園庭、学校の校庭の芝生化の促進
- ・社会福祉施設緑化推進事業費 【福祉部】 (4 百万円)
社会福祉施設において利用者、ボランティアによる植樹を推進
- ・県民参加による里山・平地林再生事業(本多静六博士の森づくり) 【農林部】 (13 百万円)
森林の少ない地域に県民参加により森林を造成
- ・新たな森づくり推進費 【都市整備部】 (68 百万円)
都市部の公園を対象に県民の寄附による植樹などで森を創出
- 新**・新たな森建設費 【都市整備部】 (103 百万円)
平地林などの身近な緑が少ない都市部において、シンボルとなる新たな森を創造
- ・県立高等学校緑化推進事業 【教育局】 (54 百万円)
県立高校における校庭の一部芝生化、屋上緑化、壁面緑化、樹木での緑化を実施

3 環境に関する意識の醸成等 (基金活用額 116 百万円)

(主な事業)

- ・地球にいいこと学習推進事業費 【環境部】 (21 百万円)
環境学習資料の作成、児童生徒による環境保全活動等への助成
- ・みどりの埼玉づくり県民提案事業費 【環境部】 (44 百万円)
みどりに関する取組を県民等から公募し、提案事業に助成
- 新**・森林との約束「ウッドスタート」事業 【農林部】 (10 百万円)
基金事業で間伐した木を使った椅子を保育所等に配布

○基金活用額計 1,590 百万円 (なお、事業費ベースの予算額では 1,928 百万円)

※新規積立額 1,399 百万円と基金残高からの取崩額 191 百万円を活用